



Automation that Inspires

2025年12月期
(2025年1月1日～2025年12月31日)

決算説明資料

2026年2月12日

株式会社ダイフク [6383]

2025年12月期 実績

- 受注・売上は堅調に拡大し、売上高は過去最高を更新。
- 営業利益は初めて1,000億円を突破し、主要3利益は4期連続で過去最高を達成。利益体質強化の取り組みが全社的に浸透し、確かな成果として結実。
- 営業利益率は15%超へ到達。強固な財務体質を確立し、持続的成長に向けた好循環が軌道に乗った。

2026年12月期 業績予想

- 労働力不足・人件費上昇、先端半導体需要の拡大といった構造的トレンドを追い風に、自動化投資の増加を確実に成長機会として捉え、受注の大幅拡大に繋げる。
- 高水準の前期末受注残高を確かな起点とし、增收増益を見込む。

2030年長期ビジョン・ 2027年中期経営計画

- 利益率目標を予定より前倒しで達成。これを受けて、2027年および2030年の利益目標を上方修正し、より高い成長ステージへ移行。
- 2030年に売上高1兆円・営業利益1,500億円の実現を視野に、先端技術・新規事業・グローバル戦略・利益体質の強化を柱に、戦略分野の成長と高い収益性の両立を目指す。

2024年12月期より、当社の決算期（事業年度の末日）は3月31日から12月31日に変更となりました。対象期間を同一にした場合の参考値（非監査）を前年同期として一部記載しています。

	2024年12月期					2025年12月期									
	第1四半期	上期	下期	通期	前年同期参考値*	第1四半期	上期	第3四半期累計	通期						
国内	4月1日～6月30日	4月1日～9月30日	10月1日～12月31日 (3カ月)	2024年4月1日～12月31日 (9カ月)	2024年1月1日～12月31日 (12カ月)	1月1日～3月31日	1月1日～6月30日	1月1日～9月30日	2025年1月1日～12月31日						
海外	1月1日～3月31日	1月1日～6月30日	7月1日～12月31日 (6カ月)	2024年1月1日～12月31日 (12カ月)	2024年1月1日～12月31日 (12カ月)										
		1～3月		4～6月		7～9月		10～12月							
2024年12月期						国内（9カ月）									
						海外（12カ月）									
		前年同期参考値*（国内 2024年1～3月を加算したもの）													
2025年12月期		国内・海外 12カ月													

* 比較しやすくするため、対象期間を同一にした場合の調整値（非監査）を算出し、記載。

2025年12月期 実績

受注高

6,726億円

前年同期参考値比

+194億円

+3.0%

調整後比*

+437億円

+7.0%

売上高

6,607億円

前年同期参考値比

+167億円

+2.6%

営業利益

1,008億円

前年同期参考値比

+197億円

+24.4%

営業利益率

15.3%

前年同期参考値比

+2.7pt

自動車生産ライン向けこそ前年同期参考値には及ばなかったものの、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、空港向けは順調に推移。

豊富な前期末受注残高をベースに一般製造業・流通業、半導体生産ライン向けが順調に推移し、増収。

生産効率化・プロジェクト管理の強化によるコスト削減、収益性を重視した受注の徹底等により、利益率が向上し、増益。

* 前年同期参考値の受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた前年同期参考値の調整後受注高は6,288億円。

01

連結決算

(億円)	2024/12期*1	前年同期 参考値*2	2025/12期	前年同期参考値比	
				増減額	増減率
受注高	5,947*4	6,531*5	6,726*3	+194	+3.0%
売上高	5,632	6,439	6,607	+167	+2.6%
営業利益	715	810	1,008	+197	+24.4%
営業利益率	12.7%	12.6%	15.3%	+2.7pt	—
経常利益	744	842	1,046	+203	+24.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	570	644	780	+136	+21.3%
当期純利益率	10.1%	10.0%	11.8%	+1.8pt	—
一株当たり当期純利益(円)	154.21	175.15	212.39	+37.24	+21.3%

為替レート(円)	2024/12期	2025/12期
米ドル	152.27	149.87
中国元	21.13	20.88
韓国ウォン	0.1113	0.1055
台湾ドル	4.74	4.81

為替影響

受注高 約▲68億円

売上高 約▲55億円

営業利益 約▲6億円

*1 国内：2024年4～12月、海外：2024年1～12月の実績。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

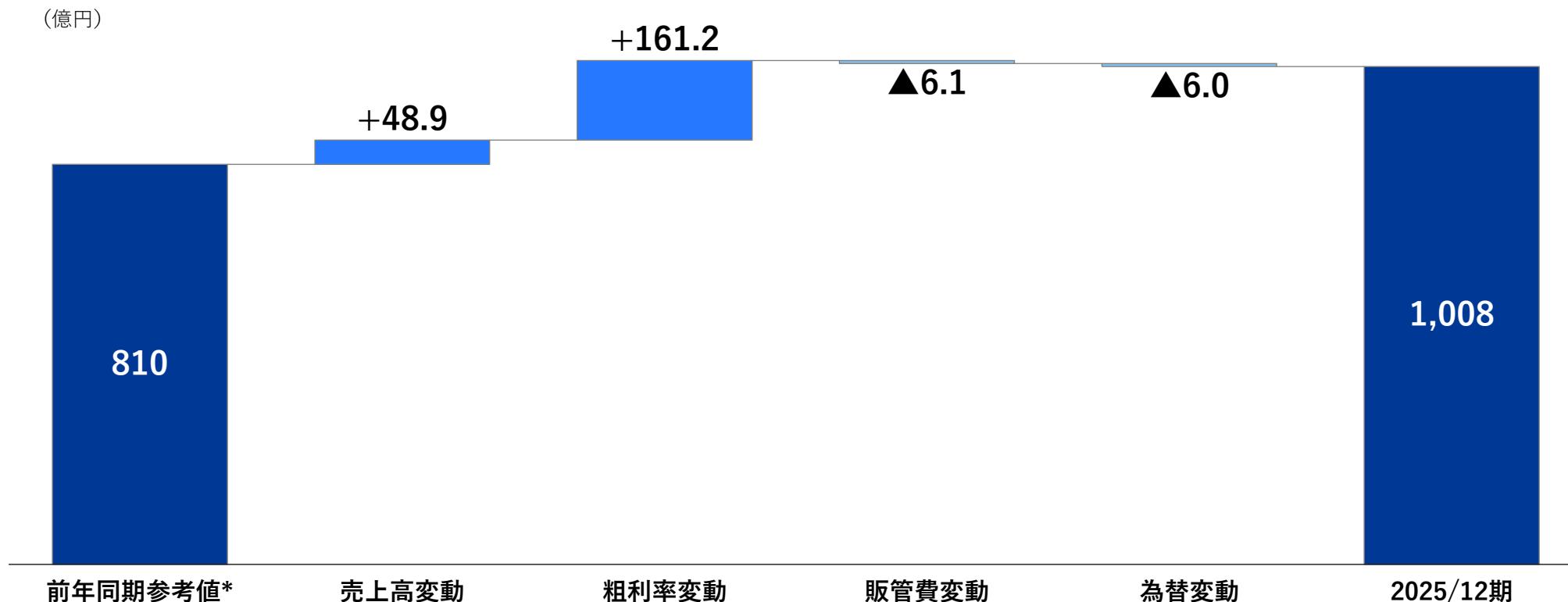
*2 2024/12期に国内の2024年1～3月を加算したもの。

*3 2025/12期より前期末受注残高に対する為替レート変動の影響額を当期受注高に含ます。

*4 2024/12期受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた2024/12期受注高は5,704億円。

*5 前年同期参考値受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた前年同期参考値の調整後受注高は6,288億円。2025/12期の受注高は調整後比で+437億円(+7.0%)。

生産効率化・プロジェクト管理の強化によるコスト削減、収益性を重視した受注の徹底などが寄与。



* 2024/12期に国内の2024年1～3月を加算したもの。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

ダイフク

ポイント 1
売上は、前期末受注残高をベースに全体としては概ね順調に推移したもの、前年同期参考値には及ばず。

Clean Factomation

ポイント 3
受注は、生成AI向け先端半導体投資の強い需要が継続し、売上・セグメント利益は、前期末受注残高をベースに、好調に推移。

Daifuku North America

ポイント 2
受注は、自動車生産ライン、半導体生産ライン向けが前期には及ばなかつた一方で、一般製造業・流通業、空港向けは順調に推移。

Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation

ポイント 4
受注は、中国国内における半導体国産化の強化・推進に伴う投資が継続したことにより、好調に推移。

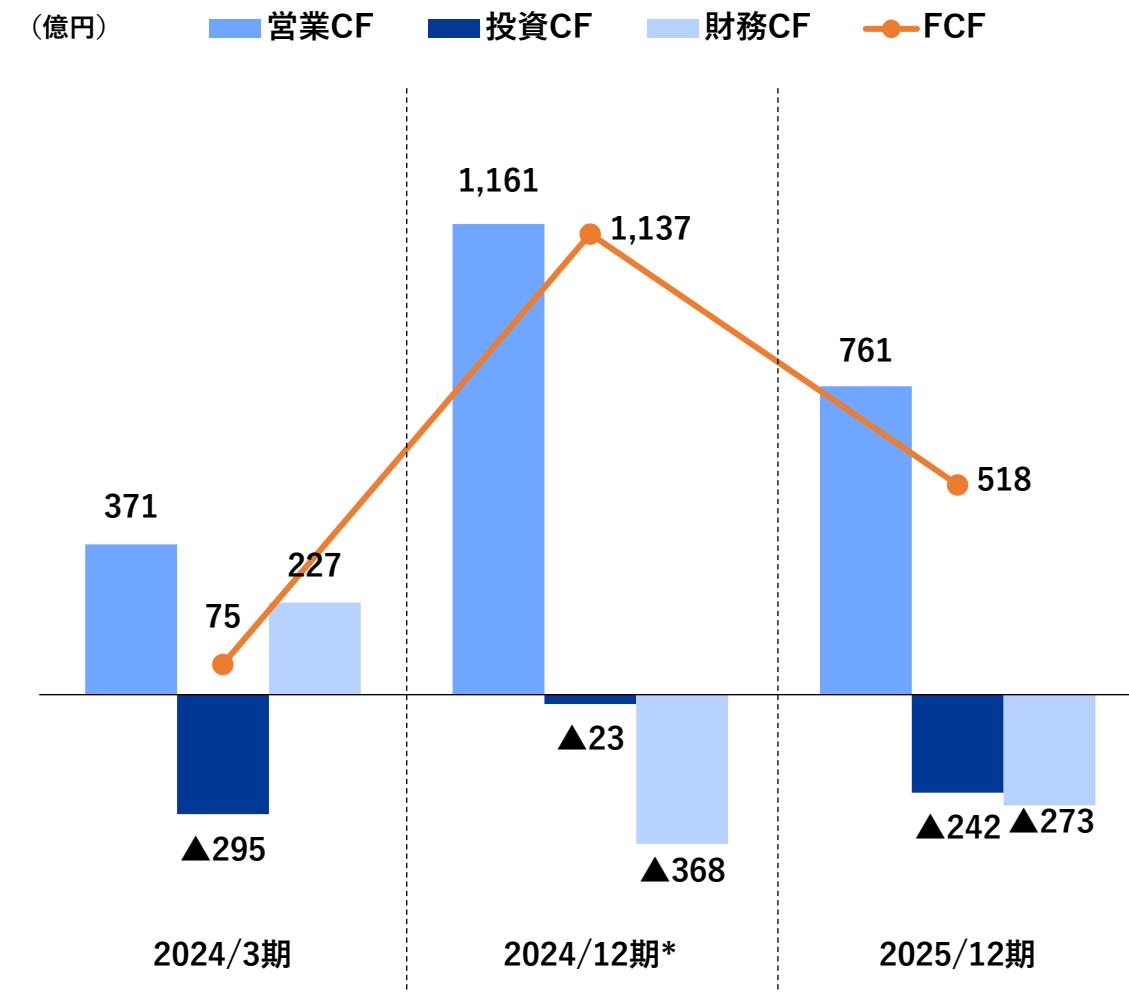
(億円)	受注高*2 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)		
	前年同期 参考値*1	2025/12期	増減額	前年同期 参考値*1	2025/12期	増減額	前年同期 参考値*1	2025/12期	増減額
ポイント 1 ダイフク	2,308	2,266	▲42	2,620	2,465	▲155	433	556	+122
コンテック	187	189	+2	193	202	+9	6	11	+4
ポイント 2 Daifuku North America	1,833	1,961	+128	1,724	1,658	▲65	162	152	▲10
ポイント 3 Clean Factomation	317	494	+176	258	375	+117	14	33	+19
ポイント 4 Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation	318	470	+151	533	409	▲124	122	108	▲14
その他	1,565	1,343	▲221	1,063	1,499	+436	43	173	+130
連結調整等	—	—	—	44	▲5	▲49	▲139	▲253	▲114
合計 (調整後)	6,531	6,726	+194	6,439	6,607	+167	644	780	+136

*1 2024/12期に国内の2024年1~3月を加算したもの。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

*2 2025/12期より前期末受注残高に対する為替レート変動の影響額を当期受注高に含ます。前年同期参考値受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた前年同期参考値受注高は6,288億円。

連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2024年12月末	2025年12月末	増減額
流動資産	5,315	5,837	+521
現金及び預金	2,215	2,612	+397
売上債権	2,248	2,389	+140
棚卸資産	629	640	+11
その他	222	195	▲27
固定資産	1,571	1,704	+133
資産合計	6,887	7,542	+655
流動負債	2,142	2,271	+129
仕入債務	817	828	+10
契約負債	850	741	▲108
その他	474	701	+227
固定負債	760	754	▲5
負債合計	2,902	3,026	+123
株主資本	3,487	4,025	+537
純資産合計	3,984	4,515	+531
負債・純資産合計	6,887	7,542	+655
有利子負債合計	633	613	▲19
D/Eレシオ (倍)	0.16	0.14	—
キャッシュ・コンバージョン・サイクル (日)	99	74	▲25



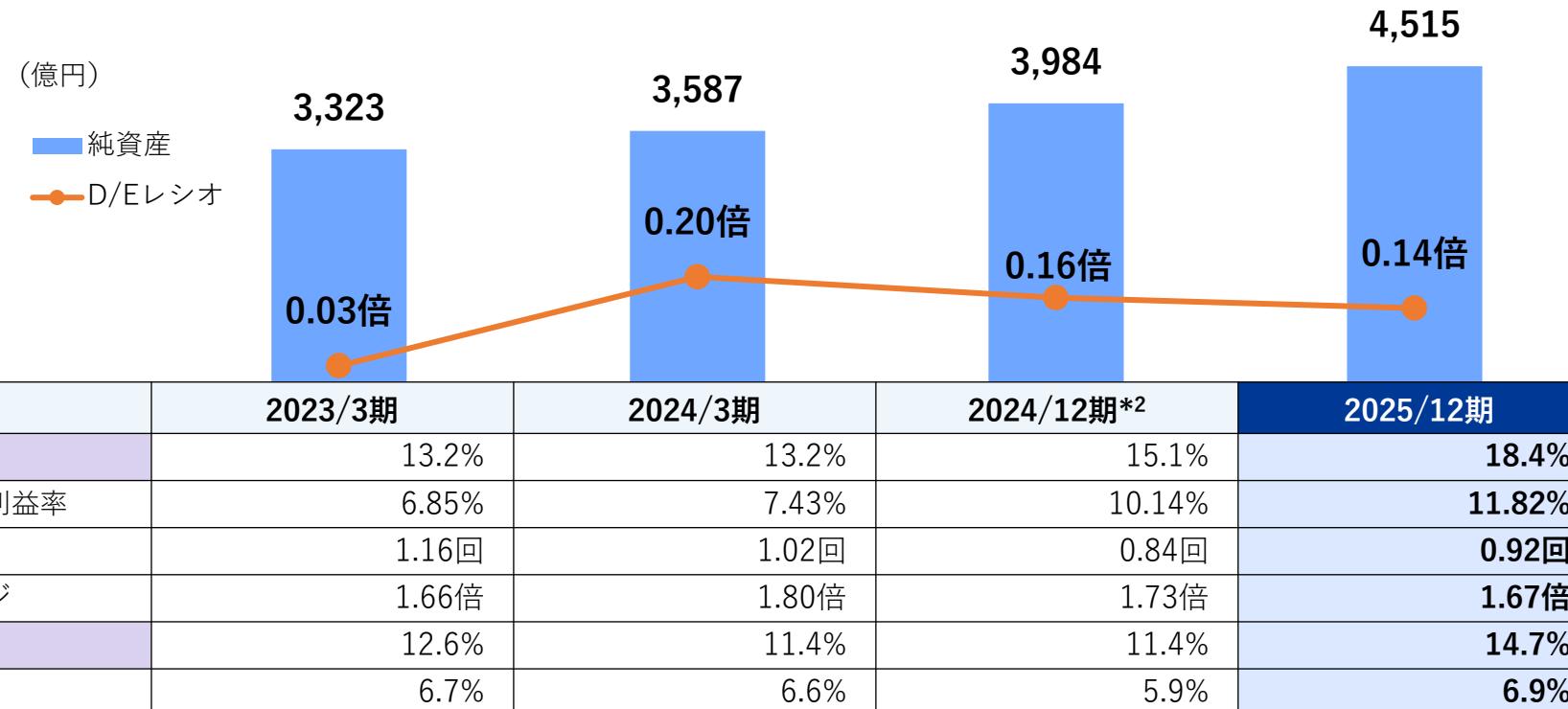
* 国内：2024年4～12月、海外：2024年1～12月の実績。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

(億円)	2025/12期			
	受注高	構成比	売上高	構成比
日本	1,757	26.1%	1,820	27.5%
海外	4,968	73.9%	4,791	72.5%
北米	1,989	29.6%	1,748	26.4%
アジア	2,652	39.5%	2,683	40.6%
中国	1,027	15.3%	837	12.7%
韓国	582	8.7%	477	7.2%
台湾	791	11.8%	941	14.2%
その他	251	3.7%	428	6.5%
欧州	191	2.8%	151	2.3%
中南米	41	0.6%	32	0.5%
その他	94	1.4%	175	2.7%
小計	—	—	6,612	100.0%
連結調整等	—	—	▲5	—
合計	6,726	100.0%	6,607	—

(億円)	2025/12期			
	受注高	構成比	売上高	構成比
自動車及び自動車部品	746	11.1%	857	13.0%
エレクトロニクス	2,398	35.7%	2,510	38.0%
商業及び小売業	1,244	18.5%	1,334	20.2%
運輸・倉庫	237	3.5%	293	4.4%
機械	101	1.5%	82	1.2%
化学・薬品	237	3.5%	233	3.5%
食品	250	3.7%	248	3.8%
鉄鋼・非鉄金属	39	0.6%	58	0.9%
精密機器・印刷・事務機	60	0.9%	45	0.7%
空港	1,084	16.1%	768	11.6%
その他	325	4.9%	179	2.7%
小計	—	—	6,612	100.0%
連結調整等	—	—	▲5	—
合計	6,726	100.0%	6,607	—

ポイント
1 ROE、ROIC

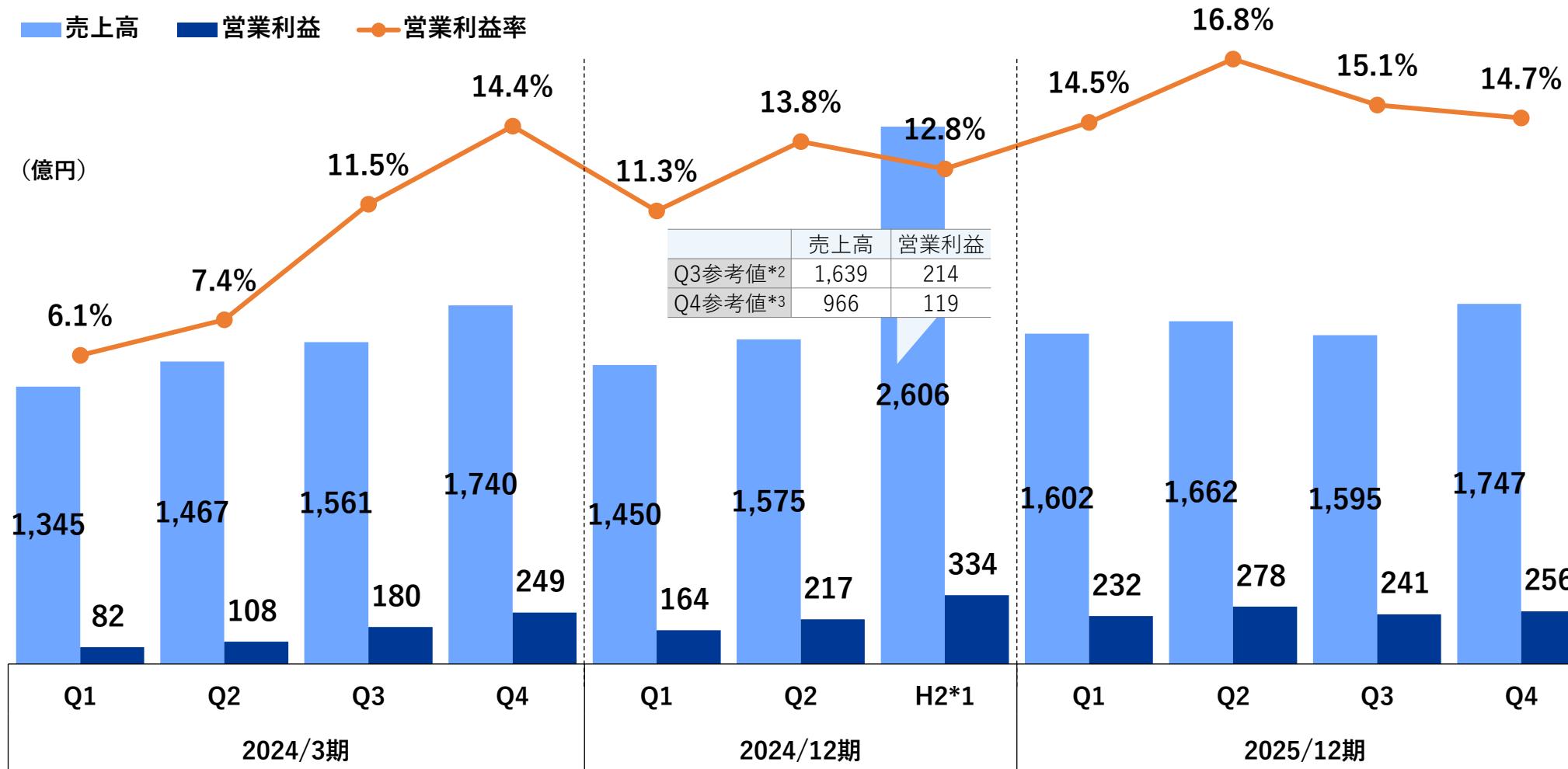
当期純利益率の向上により、それぞれ3.3ポイント改善。



*1 ①期待収益率6%、②ベータ値の算出期間60カ月

*2 連結対象期間が異なる。詳細は2ページの決算期変更についてを参照。

四半期売上高・営業利益の推移

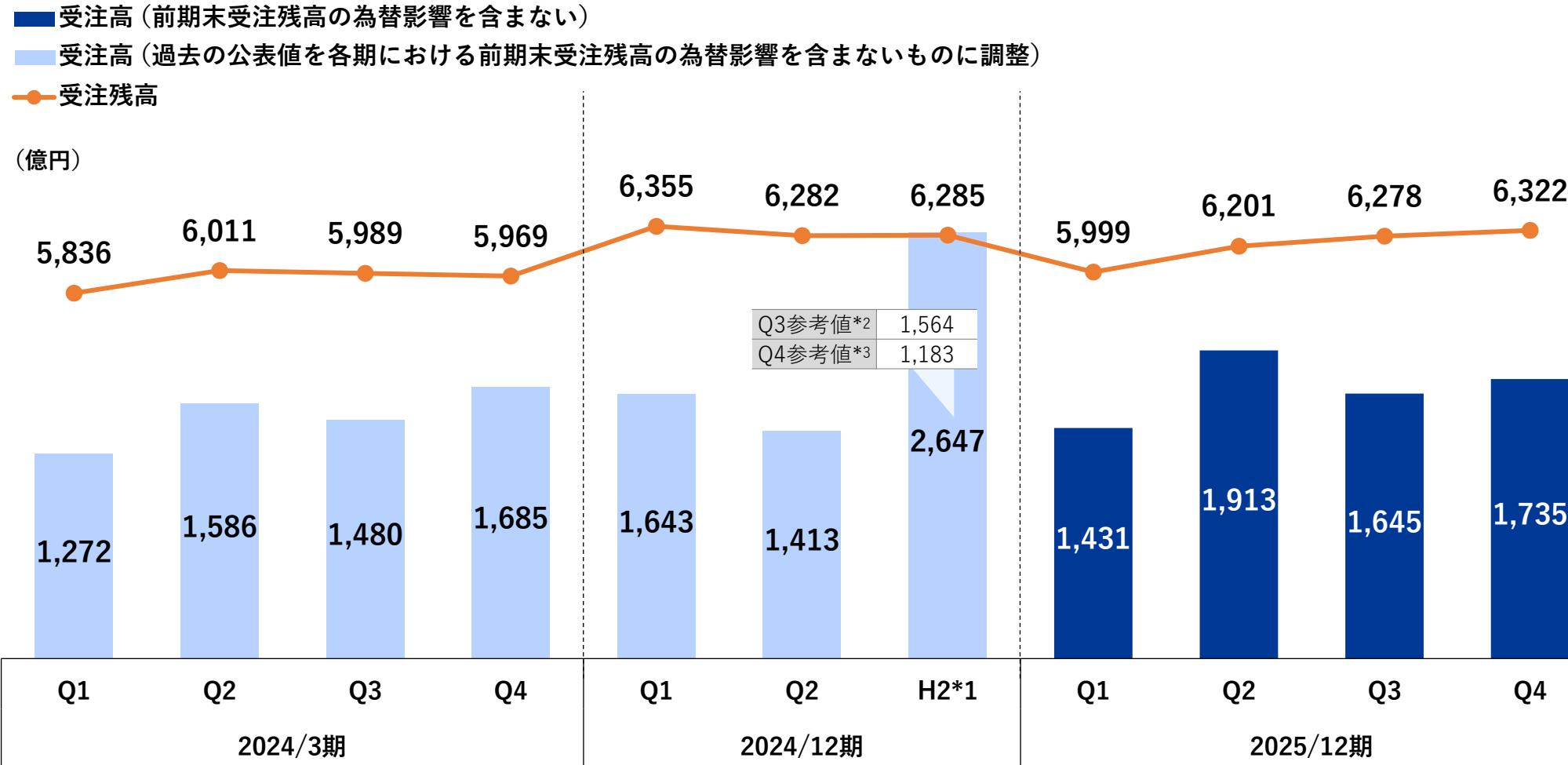


*1 国内：2024年10～12月（3ヶ月）、海外：2024年7～12月（6ヶ月）の実績。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

*2 国内：2024年10～12月（3ヶ月）、海外：2024年7～9月（3ヶ月）の参考値。

*3 海外：2024年10～12月（3ヶ月）の参考値。

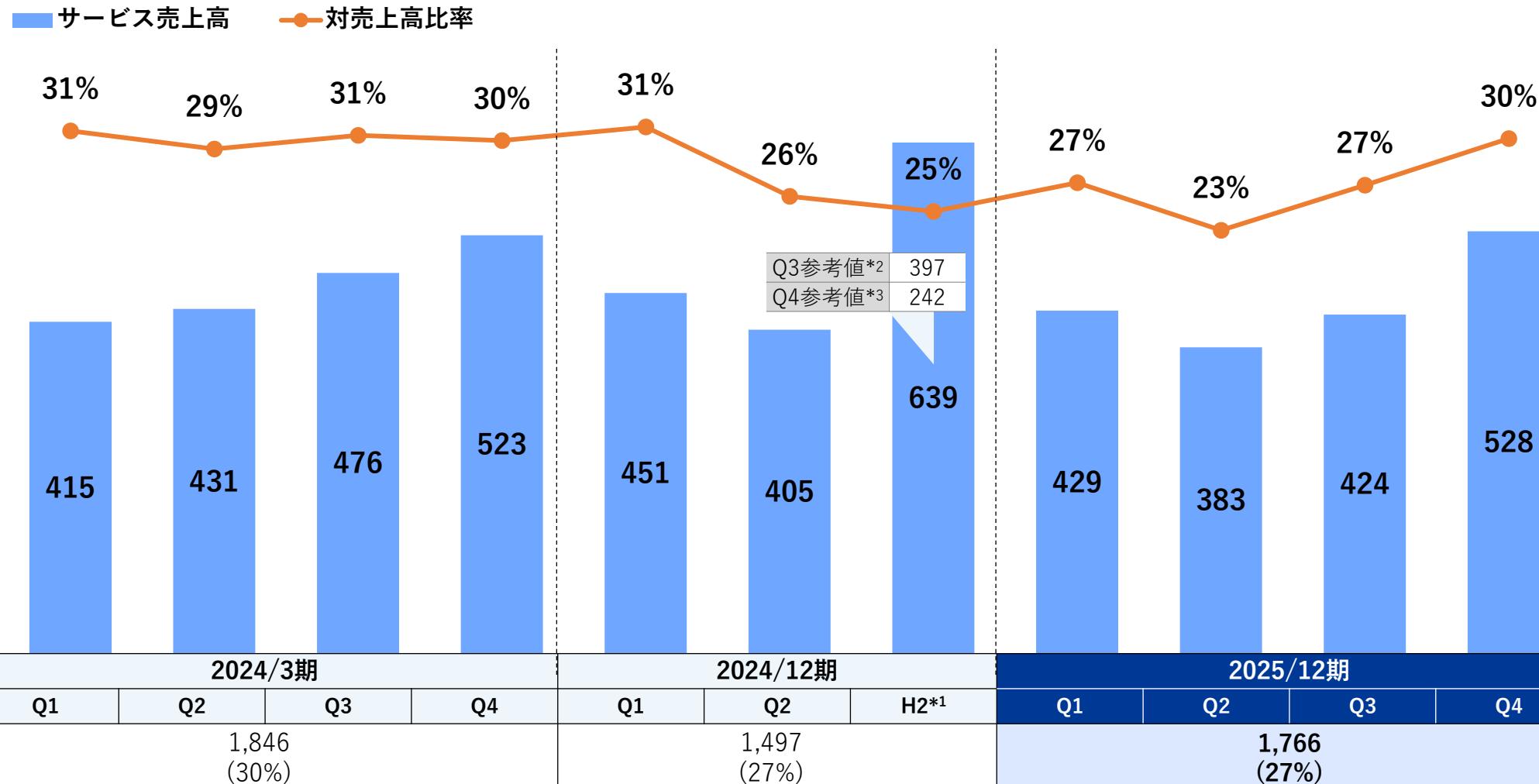
四半期受注高・受注残高の推移



*1 国内：2024年10～12月（3ヶ月）、海外：2024年7～12月（6ヶ月）の実績。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

*2 国内：2024年10～12月（3ヶ月）、海外：2024年7～9月（3ヶ月）の参考値。

*3 海外：2024年10～12月（3ヶ月）の参考値。



*1 国内：2024年10～12月（3ヶ月）、海外：2024年7～12月（6ヶ月）の実績。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

*2 国内：2024年10～12月（3ヶ月）、海外：2024年7～9月（3ヶ月）の参考値。

*3 海外：2024年10～12月（3ヶ月）の参考値。

02

業績予想

2026年12月期 予想

受注高

7,800~8,200億円

前年同期比

+1,073~+1,473億円**+16.0~+21.9%**

売上高

7,000億円

前年同期比

+392億円**+5.9%**

営業利益

1,050億円

営業利益率

15.0%

前年同期比

+41億円**+4.2%**

前年同期比

▲0.3pt

労働力不足、人件費上昇、生成AI普及による先端半導体投資の急拡大などを背景とした自動化投資が、一般製造業・流通業、半導体産業、空港で継続。自動車産業も、柔軟な生産体制への移行投資と、前期延期案件の今期需要への顕在化を見込む。

前期末の豊富な受注残高をベースに順調に推移する見込み。

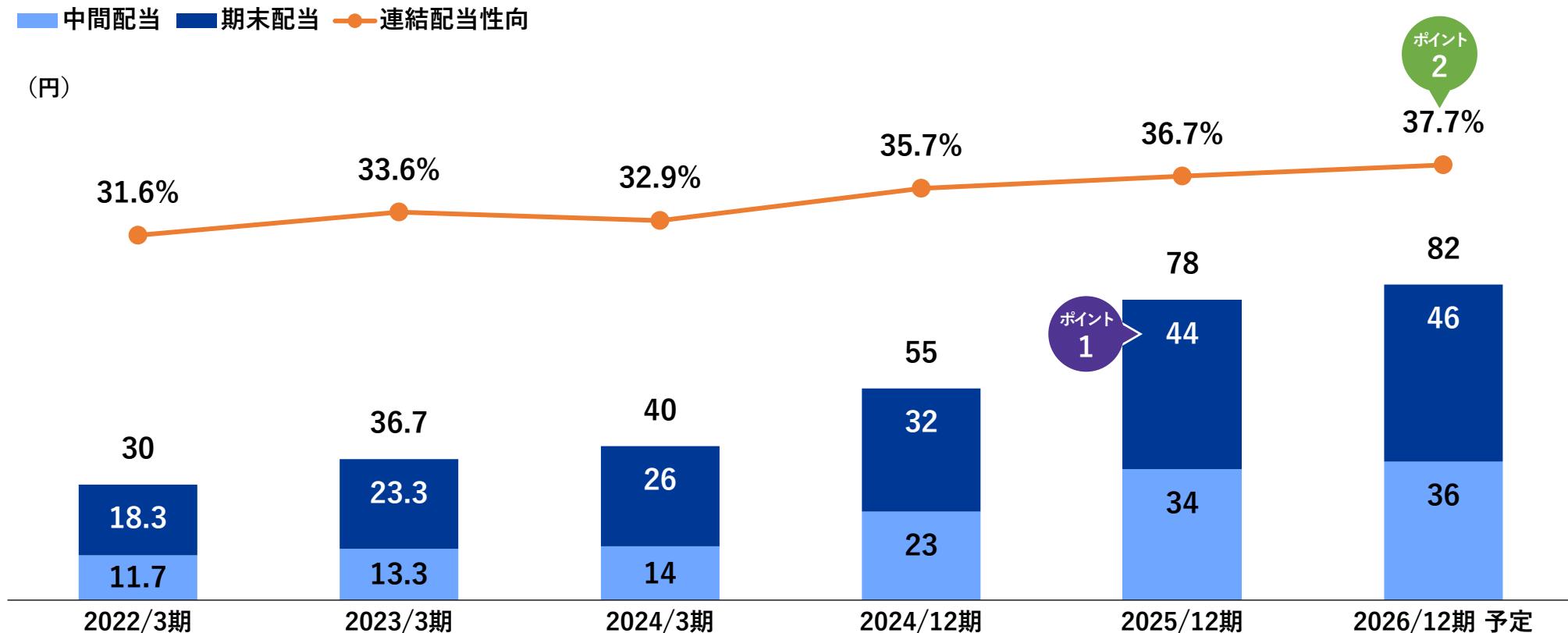
生産効率化・プロジェクト管理の強化によるコスト削減、収益性を重視した受注の徹底等の継続により、高い利益水準を見込む。

(億円)	2025/12期			2026/12期				
	上期 [a]	通期 [b]	上期 [c]	前年同期比 (c-a)		通期 [d]	前年同期比 (d-b)	
				増減額	増減率		増減額	増減率
受注高	3,344	6,726	—	—	—	7,800~ 8,200	+1,073~ +1,473	+16.0%~ +21.9%
売上高	3,264	6,607	3,200	▲64	▲2.0%	7,000	+392	+5.9%
営業利益	511	1,008	425	▲86	▲16.8%	1,050	+41	+4.2%
営業利益率	15.7%	15.3%	13.3%	▲2.4pt	—	15.0%	▲0.3pt	—
経常利益	525	1,046	440	▲85	▲16.2%	1,085	+38	+3.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	376	780	353	▲23	▲6.2%	800	+19	+2.4%
当期純利益率	11.5%	11.8%	11.0%	▲0.5pt	—	11.4%	▲0.4pt	—
一株当たり当期純利益 (円)	102.32	212.39	96.00	▲6.32	▲6.2%	217.57	+5.18	+2.4%

2026年12月期の想定為替レートは対米ドル150円。

ポイント1 2025/12期の期末配当は、期初予定の32円から12円増配の44円となり、年間配当は78円に。

ポイント2 2026/12期の年間配当は4円増配の82円を予定。配当性向は1ポイント増加の37.7%へ。



[注] 2023/3期以前の配当額は、株式分割（2023年4月1日、1株→3株）からさかのぼって便宜的に再計算。

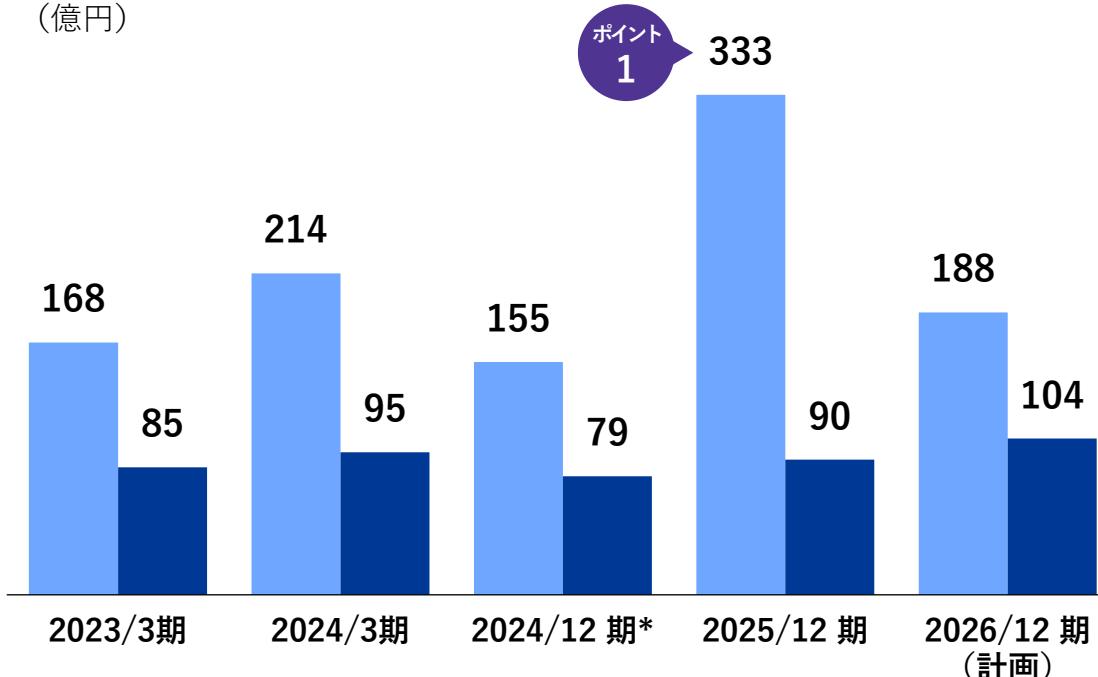
ポイント1 約220億円の滋賀事業所再開発への投資、約50億円のアメリカ新工場への投資により大幅に増加。

ポイント2 フィジカルAI、ロボティクスなど、将来の事業成長につながる技術の開発体制を強化。

設備投資・減価償却費

■設備投資 ■減価償却費

(億円)

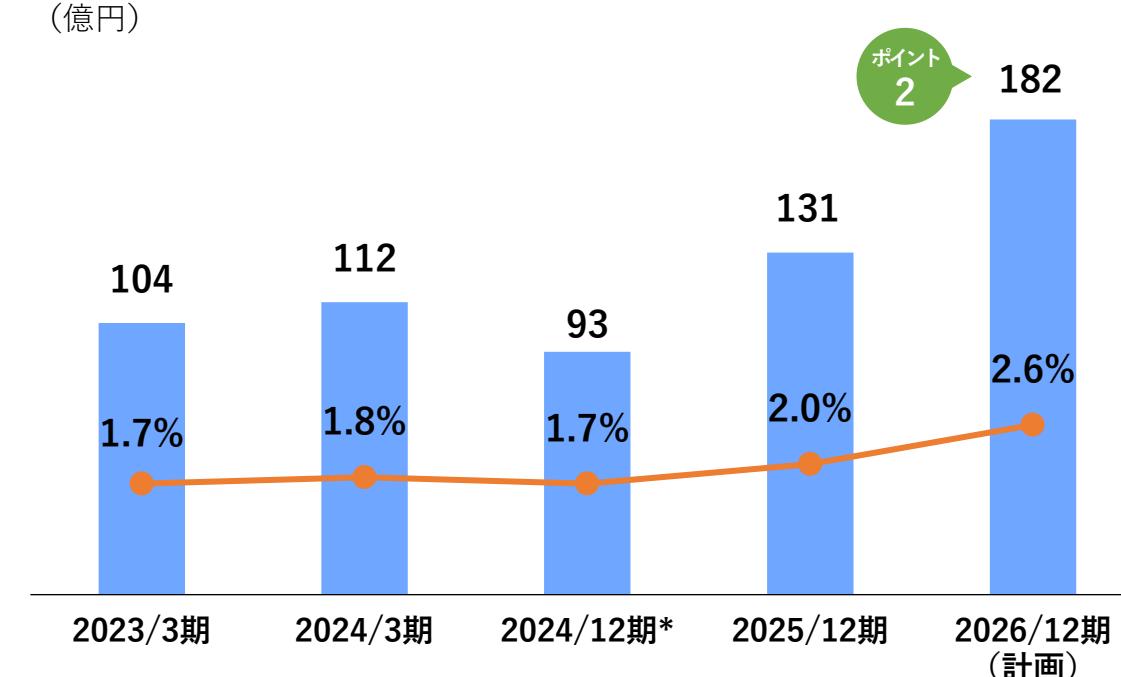


* 連結対象期間が異なる。詳細は2ページの[決算期変更について](#)を参照。

研究開発費

■研究開発費 ■対売上高比率

(億円)





Automation that Inspires

[将来の見通しに関する注意事項](#)

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。